

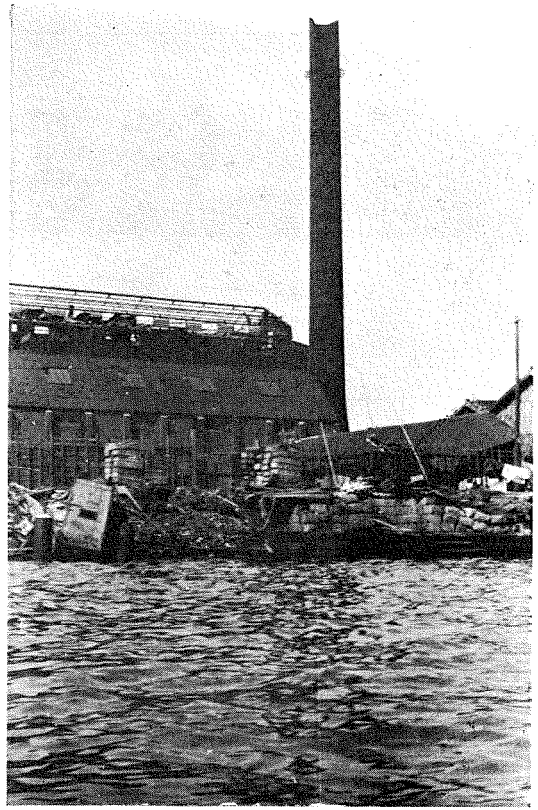
關西大風水害特輯〔3〕

大阪港被害狀況

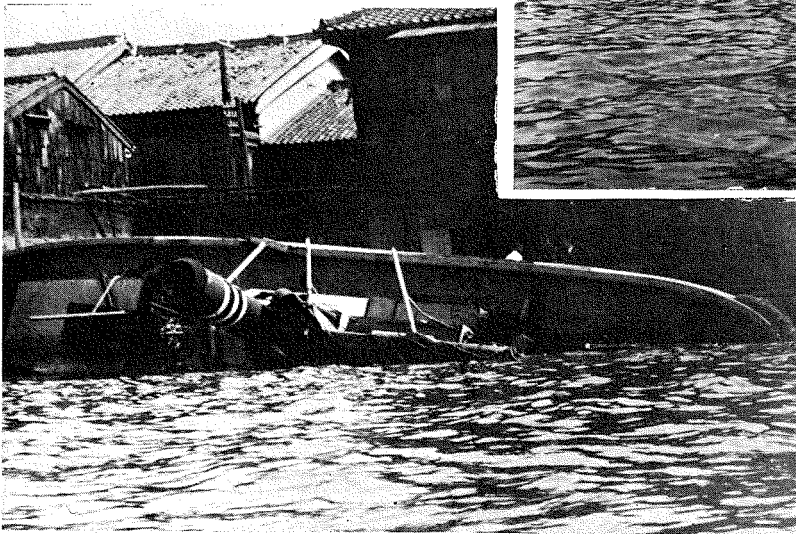
内務省土木試験所
内務技師

松尾春雄

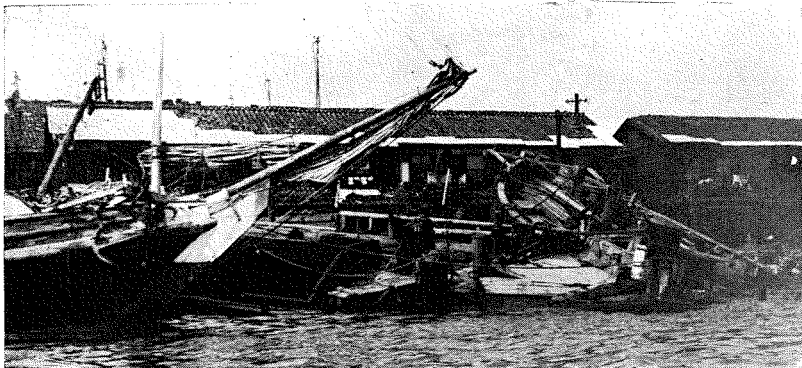
安治川を舟で下つて、大阪港内の被害狀況を視察した。被害の模様を大観すると、單に風そのものに依る被害は割合に少なかつた様に思はれる。人體は港内に淀泊中の船舶や木材等が、風又は波浪のために吹き寄せられ之が諸構造物に撃突してあの大慘狀を惹起したものと考へられる。—談—



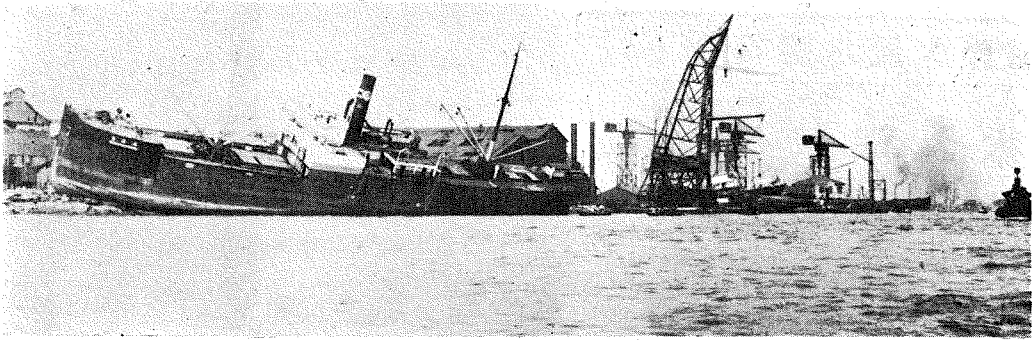
(1) 安治川右岸の或鋼鐵製の煙突、中途から倒壊してゐる。之は風の被害である。



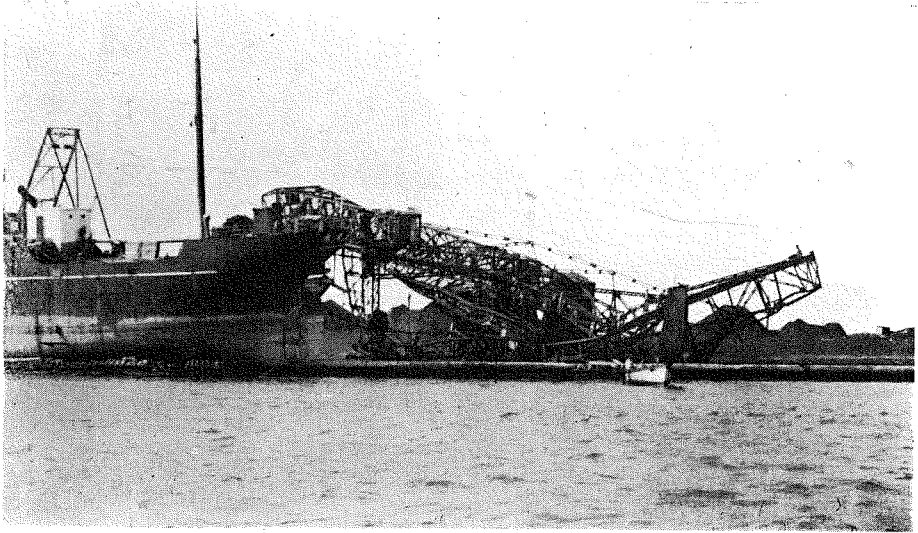
(2) 安治川岸の漂流船舶其一。



(3) 同其二。之が到る處被害を與へた。

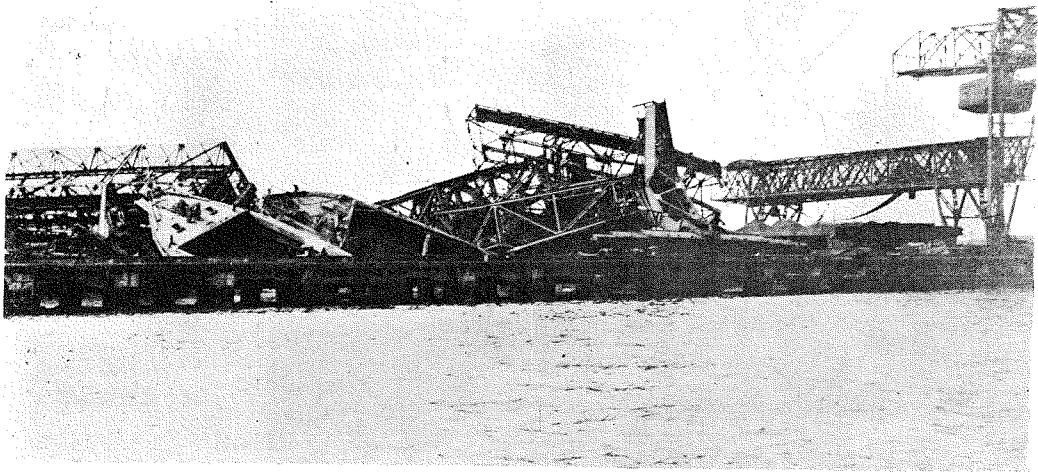


(4)
安治川岸
大阪鐵工
所工場に
乗上げた
汽船。



(5)
櫻島棧橋
附近に垂
り上げた
順天丸に
この爲に
鐵道省用
トランス
ポーター
クレーン
が倒壊し
た。

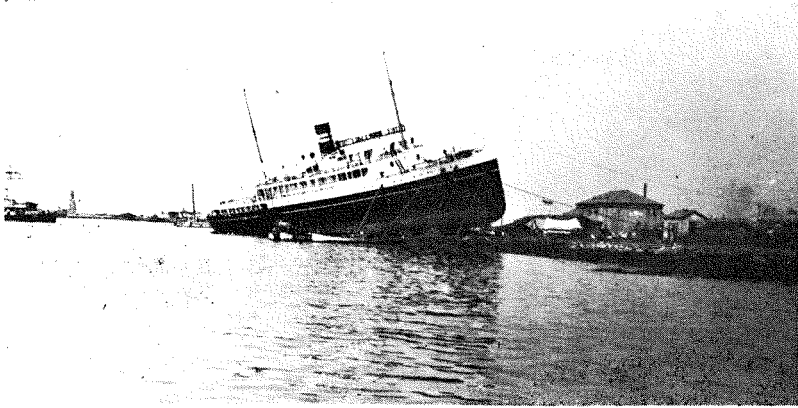
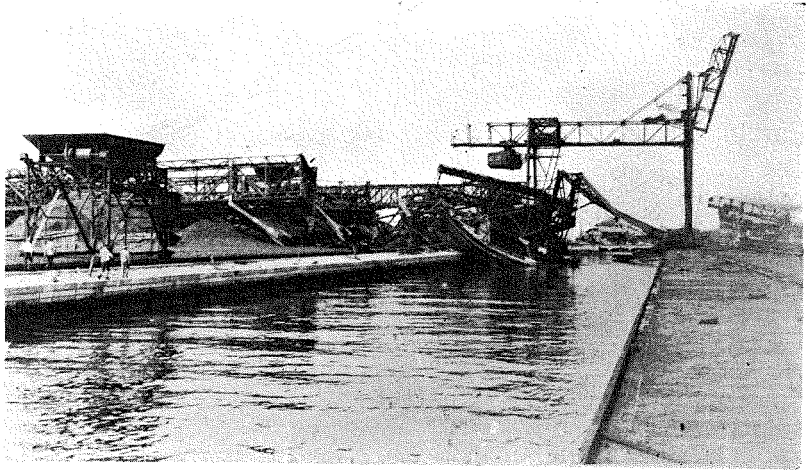
(6) 倒壊した三井埠頭のトランスポータークレーン。



×

(7) 同上。此クレーンの倒壊は寫眞に見る漂流船舶の衝突によるものであらう。船が衝突しなかつたクレーン(寫眞右端)は其儘の姿を残してゐる。

×



×

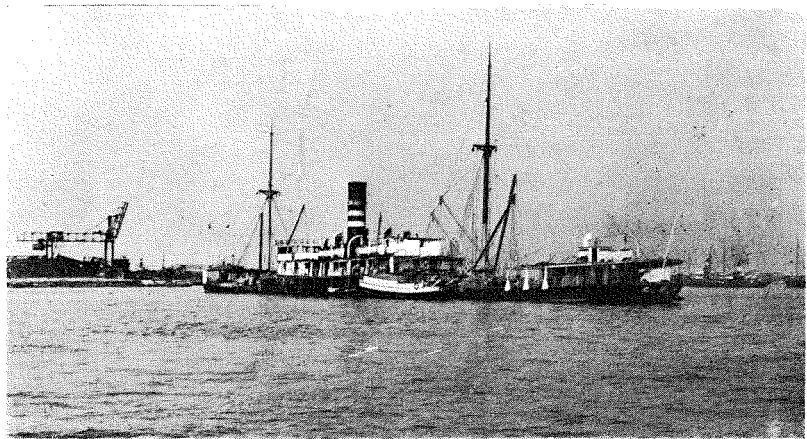
(8) 岸壁に吹き上げられた大阪商船××丸、紀州勝浦へ向け出港前で勿論錨が下してあつた。

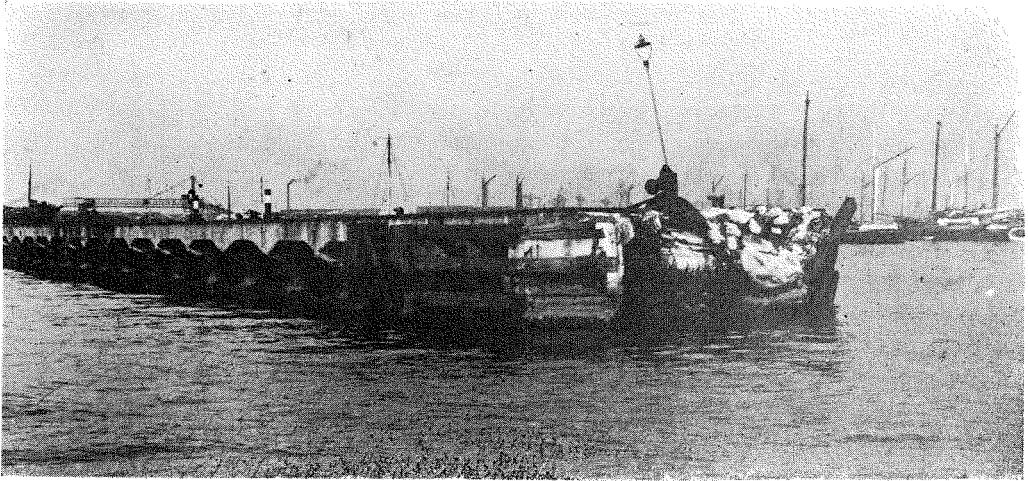
×

×

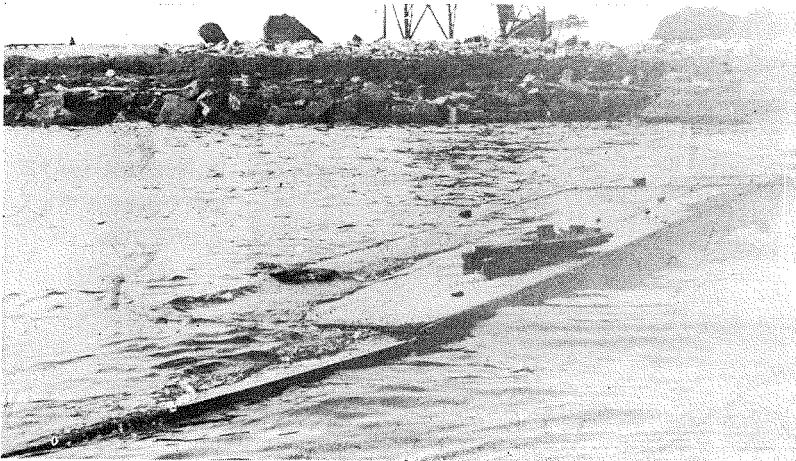
(9) 三井埠頭前に沈んだ盛運丸4,782噸寫眞では沈んでゐるとは見えない。

×





(10) 船が衝突して破壊した三井埠頭の岸壁。



×

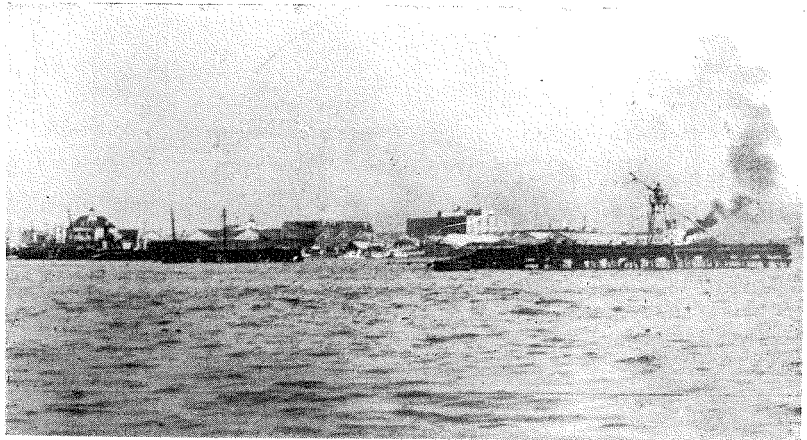
(11) 同上附近に腹を見せてあるダルマ船。

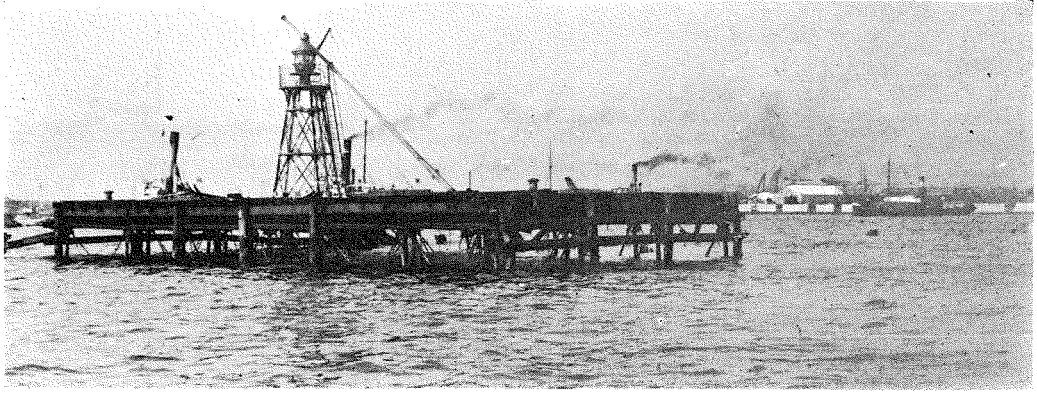
×

×

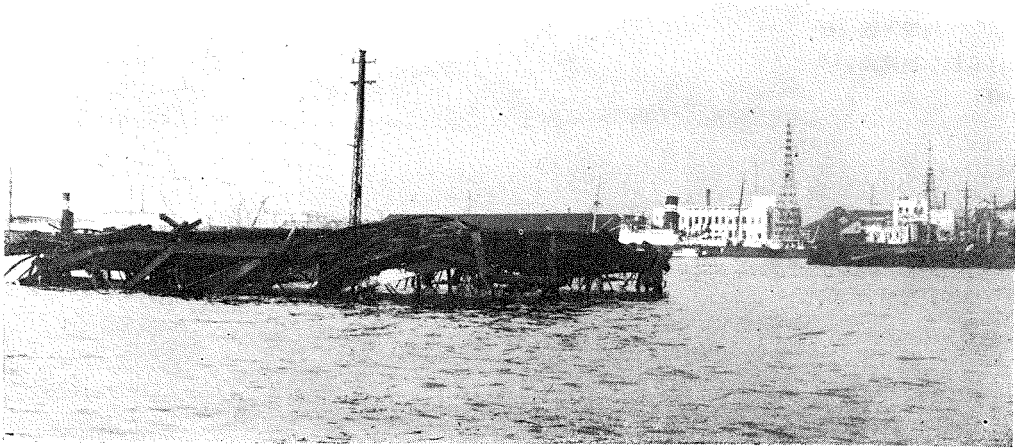
(12) 浦戸丸(1,253噸)が風に吹き寄せられ、大棧橋を三つに切断した。港内にはアイと一諸に移動した船もあつた。

×

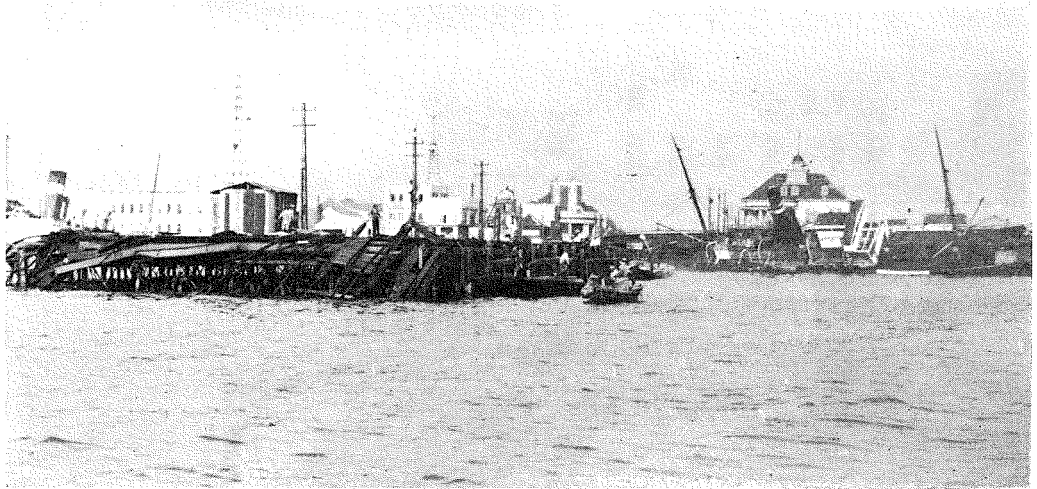




(13) 三 つ に 切 れ た 大 棧 橋 の 頭 部。



(14) 同 上 中 央 部。



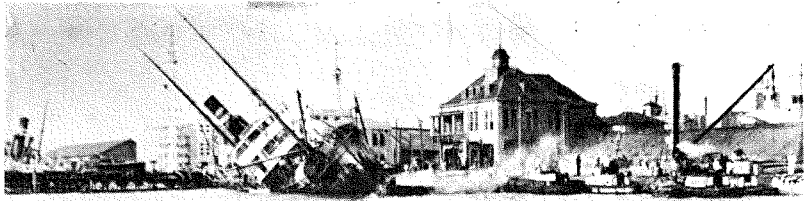
(15) 同 上 根 元 の 部 分。此 被 害 は 風 そ の も の で は な く 全 く 前 記 船 舶 の 爲 の 被 害 で あ る。



(16) 大棧橋の被害状況、写真(14)の裏面である。

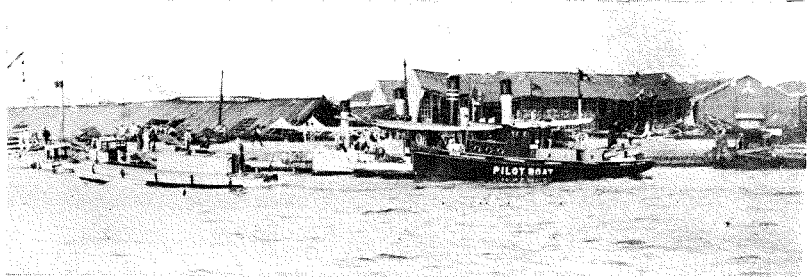
×

(17) 棧橋附近に打上げられた瑞鳳丸(1,000噸)



×

(18) 税関の裏、棧橋の根元の上屋、左方が倒壊。

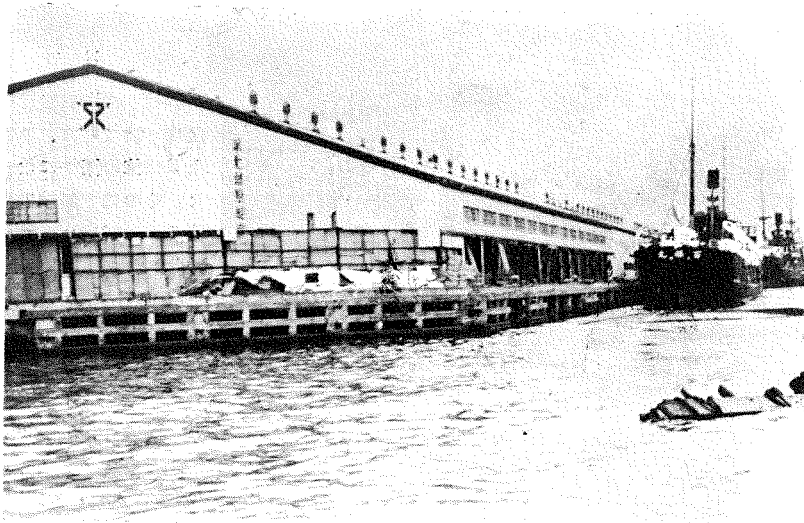


×



×

(19) 崩壊した第一繋船岸附近の物揚場。



×

(20) 第七繋船岸の市營上屋、鐵骨造波形スレート張、水の爲0.p+5m15まで脱落した。寫眞は其跡へ荒な張つた光景

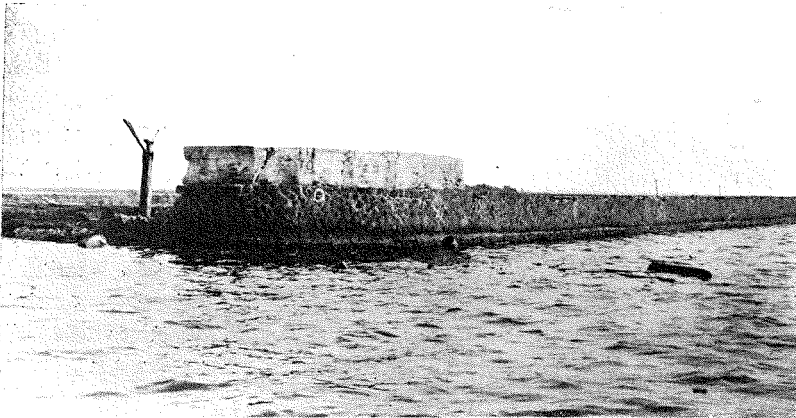
×

(21) 木津川尻飛行場格納庫と岸壁の沈下之も上の市營上屋と同じ構造、水の爲にスレートが脱落した。この岸壁の頂きは0.p+3m50であつた。



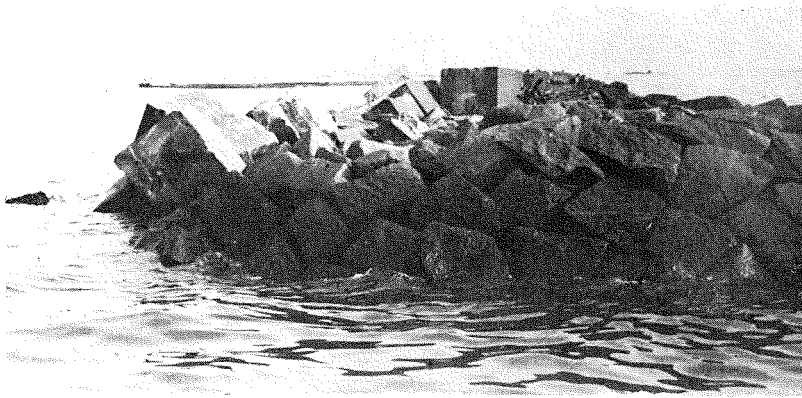
×

(22) 飛行場護岸、間知石空積みで裏詰は全部砂であつた。砂が洗はれて破壊した。



×

(23) 木津川左岸埋立地の護岸、下部(寫眞で残存してゐる部分)は間知石練積、上部の混凝土ブロックが波の爲に脱落した。寫眞左方被害は木材又は船舶の撃突の爲か。

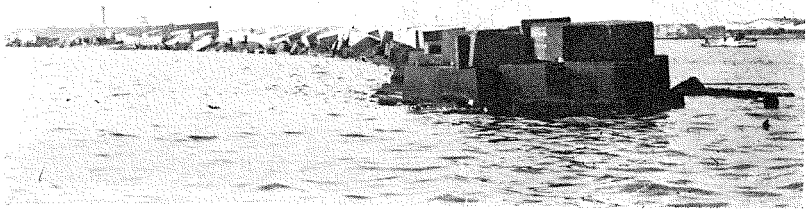


×

(24) 内港防波堤の北端 波はブロックの上2m位の深さになった。その爲と船舶の漂流によつてブロックが轉落した。

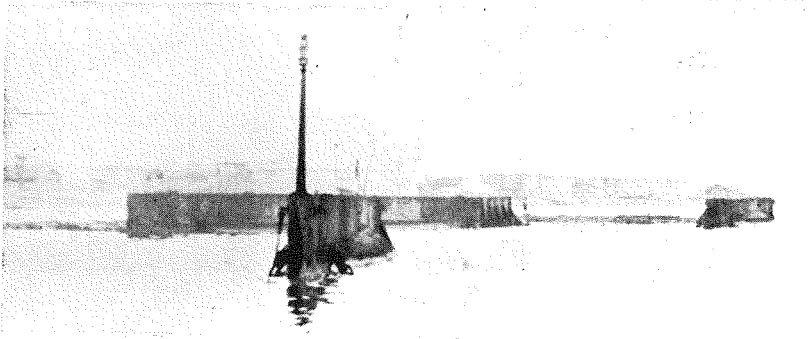
×

(25) 南防波堤南端
コンクリートの捨ブロックが相當に轉落した
ブロックは整然と据付けてあつたわけではない。



×

(26) 木材整理場前
古潜水艇3隻を並べて
防波堤を造つてあつた
ものが波の爲に移動した。



×



(27) 被害の最も甚しかつた堺の三寶此處はオランダの様に地面が平水面より低く、此防波堤によつて水を防いでゐた。堤は空積で裏詰は砂である。之も砂が洗はれて堤が缺壊したのである。